

福島直子の市政レポート

vol.3

中区に三障害一体型サービス施設が実現

施設の運営法人として「よこはま障害者サポート協会（仮称）」が選定されています。

「障害のある人もない人も、共に安心して暮らせるまち」は、私たち市民が長く目指しているところで。中区では地域に多くの作業所やグループホームが点在し、障害のある人もない人も支えあつて地域生活を営んでいます。こうした小規模な施設をバックアップし小規模施設ではできない機能を果たす、三障害（知的・身体・精神障害）一体型サービス提供施設の設置準備が進んでいます。

横浜市では区ごとに行ってきた施設の整備を進めてきており15区で既に設置されました。中区では平成17年

わたしたちの地域力で応援を

度から検討が進められ、ようやく新山下3丁目にある市有地での設置が決定。平成23年度の開所を目指しています。建設に関する協議体として中区役所、中区社会福祉協議会、中区連合町内会長連絡協議会や障害者団体、医療機関などで構成された「建設委員会」が設置されており、本年5月に

建設委員会とサポート協会は、関係者はもとより多くの区民や事業者の皆様にも「三障害一体型サービス提供施設」に関する理解を深めていただき、建設資金へのご協力と活動されています。厳しい経済情勢のなかで、善意によるご寄付をいただくことは大変難しいことと思いますが、こうし

た社会情勢だからこそ「生きにくさ」を一層感じてしまう障害者の方々を支える「私たちの地域力」を発揮していきたいものと思います。

横浜市は今、林文子市長による平成22年度予算の編成作業を行っています。4月からは在宅障害者手当に代わる「将来にわたるあんしんプラン」の具体的施策が実施されることになっていますが、危機的状況という市財政のもとで、どのように具体化していくのか、しっかりと点検していきたいと考えています。



新山下3丁目の建設予定地



市政相談をお寄せ下さい

FAX 624-1634へお送り下さい

<http://www.fukushima-naoko.info/>

ご寄付の宛先は

- ①横浜銀行
普通 319-1391805
よこはま障害者サポート協会後援会会長 稲葉正美
- ②ゆうちょ銀行
振替口座 00200-9-82195
よこはま障害者サポート協会後援会